

## 知的障害のある子をもつ母親のFGDで現れた「かすがい」という他者援助機能

## —ICFによる質的分析—

○ 洗足こども短期大学 下尾直子 (006765)

キーワード：ICF グループディスカッション 他者援助

### 1. 研究目的

障害のある子をもつ母親が子を囲い込むメカニズムについては、社会に愛情を母親に強制する規範があるために、母親は愛情を社会に対して表明せざるをえないのだという説がある。さらに西欧の近代家族にある「子どもを家族から外の世界に押し出す規範」が日本の家族にはないことも要因となり、障害のある子を囲い込むという。一方で、そうした親役割から降りようとする母親が少なくなってきたことも、近年の傾向として指摘されている。近年障害児者の在宅福祉サービスが不十分ながら整備されつつあること、若い親たちが「障害児の親にたいするステレオタイプのイメージを脱しつつある」ことがその背景にあるとされている。しかし、本稿はこうした障害のある子の親の障害観の変遷を捉え、近年「囲い込んではいけない」という悲壮な覚悟のもとで子を独立させようとする母親が出てきていることに着目した。とすれば、子の独立に際した母親の真の願いとは何か。様々な視点による考察の先に、さらに根深くある「子を離家させたくない」という母親の思いを再検討するのが本稿の目的である。

### 2. 研究の視点および方法

研究は、日常生活と似た環境で意見が交わされ、ディスカッション内でそれらの意見が修正されることも期待したリアルグループによるFGD（フォーカスグループディスカッション）のデータから分析した。分析には、ICF(=国際生活機能分類 WHO(2001))のコードを使った。ディスカッションデータを逐語録にし、これをTU(=語幹ユニット)に分割し、リンキングルールに従ってICFコードにリンキングし、ICF関連図を作成した。

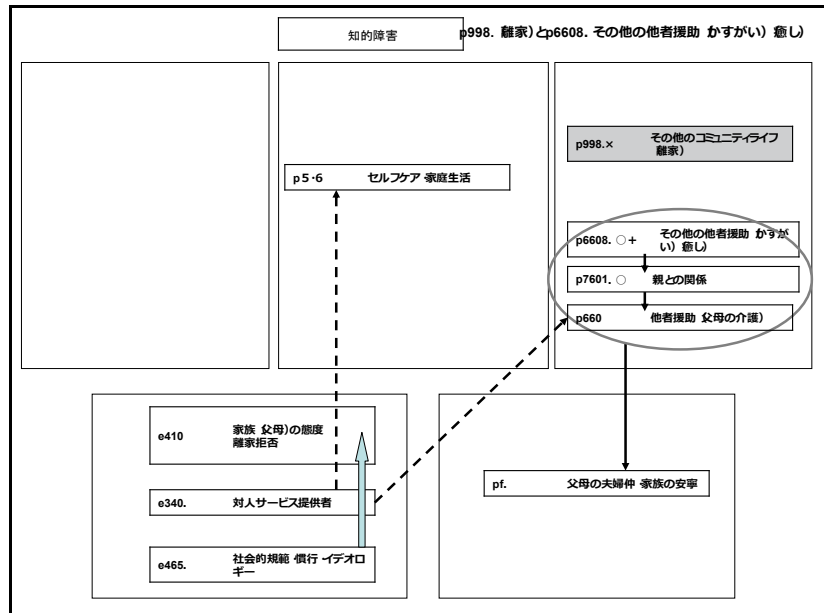
なお、本稿のリンキングルールは、Cieza et. al(2005)や堺(2013)を参考にして独自のルールを作成して使用した。特に、階層性のあるICFコード中、末尾に8を付した「そのほか特定の」というコードと、9を付した「詳細不明の」コードを使用し、現存のICFコードにはないコードを作ることを積極的に行ったことがCiezaらと異なる点である。これによって、普遍的に定義づけることのできない多様な生活機能を表現することが可能になり、障害のある人の個別性が明らかにされると考えたためである。

### 3. 倫理的配慮

グループディスカッション参加の依頼は、テーマについて説明し、録音・逐語録化することを明記した依頼文書で行った。参加表明のあった参加者には、参加者の匿名性の保証、データ管理の徹底などについて書かれた参加承諾書を読みながら確認し、サインを求めた。

#### 4. 研究結果

4～5名の4グループによるデータを分析した結果、離家させたくない母親の語りはどのグループにもあったが、その全てが「子には親の支援が必要だから」という理由ではなく、「親がそうしたいから」という積極的な理由であった。特に「あの子がいて（夫と）3人の生活が成り立っている」や「癒しっていうか。家族にとってあの子の存在が必要なんだよね」という語りに見られるような「かすがい」の機能が障害のある子どものプラス面として語られた。



【コード関連図】

かすがいの機能は、親との関係を良好にし、父母の精神的支えという介護を担うことができ、そのことが父母の夫婦仲や家族の安寧につながっているという。また、この機能は、本人にセルフケアや家事の能力があるか否かにかかわらず、また、本人の性格が穏やかであるとか、言動が無垢であるかどうかにも無関係である。つまり、最首（1998）が「自他未分離の者が発している信頼素のようなもの」と表現しているようなものが、かすがいの機能を形成する要素ではないかと考えられた。そしてそれは「子どもが拒否しない」「出ていかない」ということにもつながっていた。障害のある子が「父母の介護」を主に担うとすれば、家事等の支援者を必要とするだろうが、「支援付きの自立」が認められるのであれば、「支援付きの介護」があって良いだろうというのが本ディスカッションの結論であった。

#### 5. 考察

本ディスカッションにおいて、母親の口から我が子の様々な活動制限や参加制約が語られたが、「p6608.その他特定の他者援助（かすがい）」は、唯一インペアメントがあることによるプラスの機能として語られた稀有なコードであった。障害がある人も、一律に離家する自立だけが目指されるべきではなく、情緒的支え合いという家族機能の一端を担う能力としてかすがい機能の能力の高さを認めることは、あらゆる形態の暮らし方の選択肢を広げるきっかけになるのではないだろうか。